

【資料2】

令和3年7月19日
武蔵野市障害者福祉センター
あり方検討委員会（第3回）

障害者福祉センター 事業実施法人へのヒアリング結果
(社会福祉法人 武蔵野千川福祉会)

日時 令和3年7月12日(月) 15時～16時15分

場所 障害者福祉センター地下1階会議室

出席者 (社福) 武蔵野千川福祉会

千川作業所 施設長 唐澤 様

千川おひさま幼児教室・千川さくらっこクラブ 照沼 様

障害者福祉課 勝又課長、齋藤課長補佐、永田主査、中村主任

1 現在の障害者福祉センターの課題について

(1) 建物構造上の課題はありますか

①事業実施の観点から

千川作業所	千川おひさま幼児教室 千川さくらっこクラブ
壁がカーブしていることによる支障 ・見通しが悪い。 ・利用者の顔が見えず不安。 ・利用者の人数が確認しにくいいため、2グループに分けて事業を実施している。	・ロッカーがそもそも子ども用ではない。 ・手洗スペースが確保されておらず、非衛生的。 ・教室のような四角い形が良い。 ・子ども用トイレは、6年生ぐらいになると使いにくい。

②安全安心の観点から

千川作業所	千川おひさま幼児教室 千川さくらっこクラブ
避難訓練で実感していること ・スロープを進むのが遅い方がいる。 ・(改修案で示されたように)スロープが長くなると避難自体ができない恐れがある。	・それほど大きな課題はない。 ・3階にあることで足腰の訓練になっているという面もある。 ・避難という観点から考えると2階のほうがよい。

③職場環境の観点から

千川作業所	千川おひさま幼児教室 千川さくらっこクラブ
・間仕切りがなく、ロッカールームもないため、着替えをトイレで行っている。 ・事務スペースがなく、記録を取るのに手狭 ・法で5年保存を要する書類を安全に保管できる場所がない。	・もともと物置だった場所を事務スペースとしているので使いにくい。 ・トイレが男女別でない。 ・職員用のスペースがない。 ・給湯がないため洗い物がつらい。

(2) 施設の老朽化に関し、必要と思われる対応策はどんなものですか

①建物 ②設備

千川作業所・千川おひさま幼児教室・千川さくらっこクラブ 共通	
建替えか大規模改修かということでいえばどちらでもよい。	
①建物	カーブのない、見通しの効く建物がよい。
②設備	(衛生)・大規模修繕では難しい、と感じているのはトイレである。 ・手洗い場の設置。 ・トイレを失敗する利用者も多いのでシャワールームがあるとよい。
(空調)	改修は必要 現状：夏場は非常に気温が上がる(平均 28~29℃)。 エアコンをつけても冷たい空気は出てこない。
(書類保管)	資料保管のスペースは必要。

2 将来の障害者福祉センターについて

○いま支援している中で、今後も障害者福祉センターに残したい事業(機能)は何ですか？

千川作業所	千川おひさま幼児教室 千川さくらっこクラブ
<ul style="list-style-type: none"> ・現在行っている事業は残したい。 ・地域性が大事だと思っている。(千川作業所は地域に根付いている。) ・団体支援を充実させたほうがいい。 ・相談支援を事業所への施設貸出の条件に入れるなど、ある程度制約を設けるのはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・千川さくらっこクラブは残したい。(北ホールにある「千川さくらんぼクラブ」(放課後等デイサービス)が近いので連携しやすい。) ・前面道路の幅員が広く、送迎のバスが停めやすい。

○新たに付加すべき事業(機能)はありますか？

千川作業所・千川おひさま幼児教室・千川さくらっこクラブ 共通
<ul style="list-style-type: none"> ・発達支援の事業所があると総合的なセンターになるのではないか。 ・相談支援を事業所への施設貸出の条件に入れるなど、ある程度制約を設けるのはどうか。 ・精神・発達の事業所があるといいとは思いますが、それらの事業所は駅に近いなどのほうが事業を展開しやすいと思われるので、障害者福祉センターの今の場所だと現実的には厳しいかもしれない。 ・団体支援の一つとして、共同のワークスペースがあってもよい。

○その他

法人としては、地域に貢献できる新たな事業があるとよい。